

お客様第一主義

すべてのお客様を大切にすることが経営の基本である

消費者の皆様

株主の皆様

販売先の皆様

仕入先の皆様

金融機関の皆様

自然

健康

安全

良いデザイン

おいしい

伊藤園は誠実に、そして着実に実践します

1. 飲料市場
2. 市場環境
3. 業績
4. マネジメント
5. 営業政策
6. 部門別業績及び容器別売上高構成比(単独)
7. ブランド政策(1) - お～いお茶
8. ブランド政策(2) - 野菜飲料及びコーヒー飲料
9. ブランド政策(3) - 新しいカテゴリーへの挑戦
10. 循環型社会に向けて
11. 海外展開
12. 中長期計画

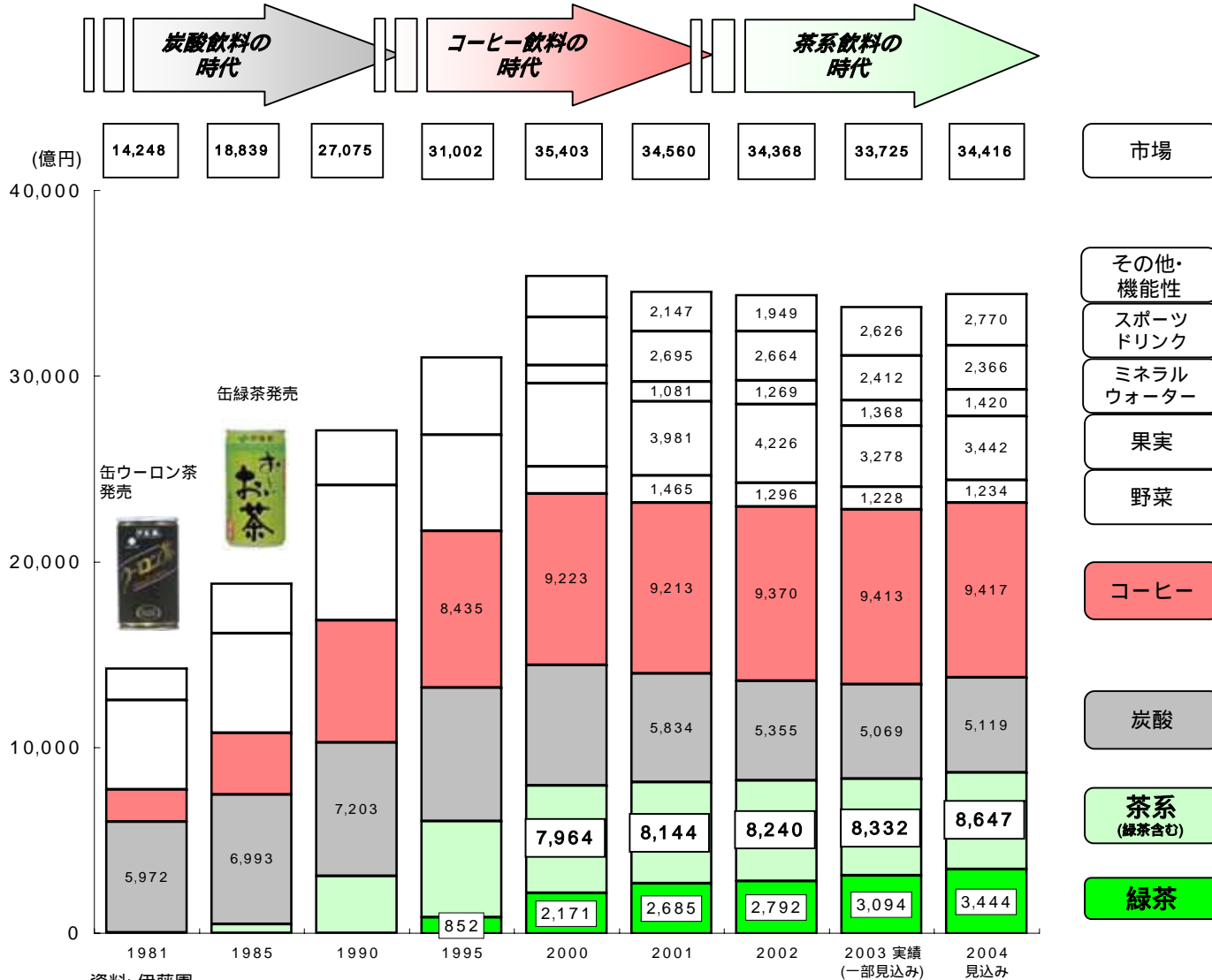
参考資料

2004(平成16)年4月期 決算説明会資料

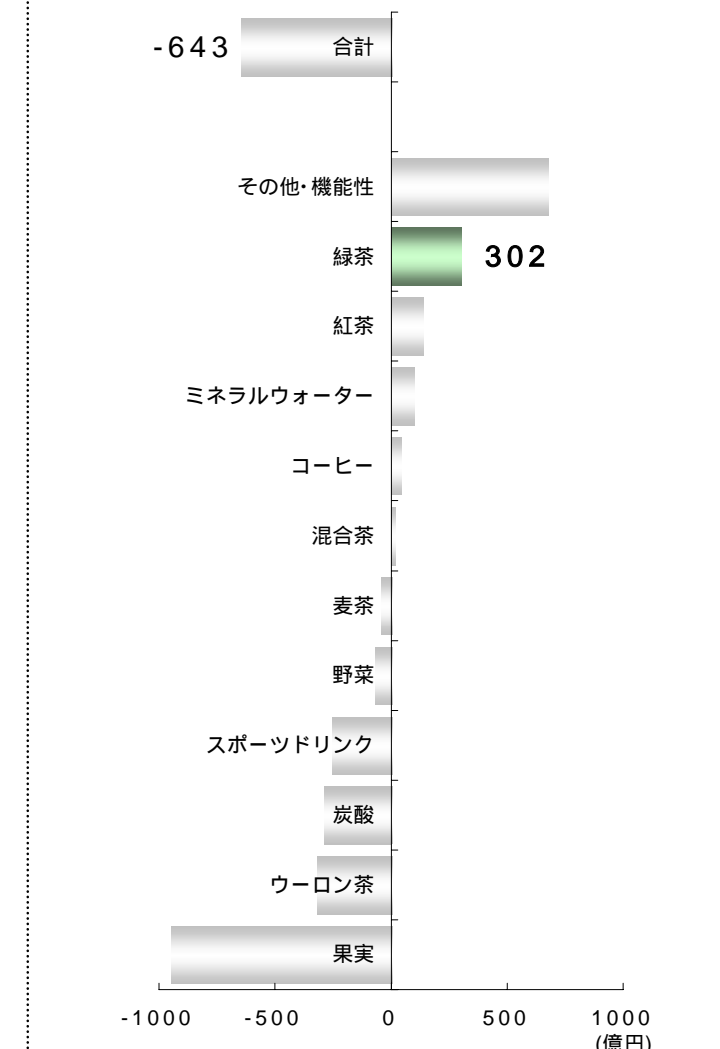
2004. 6

1. 飲料市場

飲料市場推移 (金額ベース)



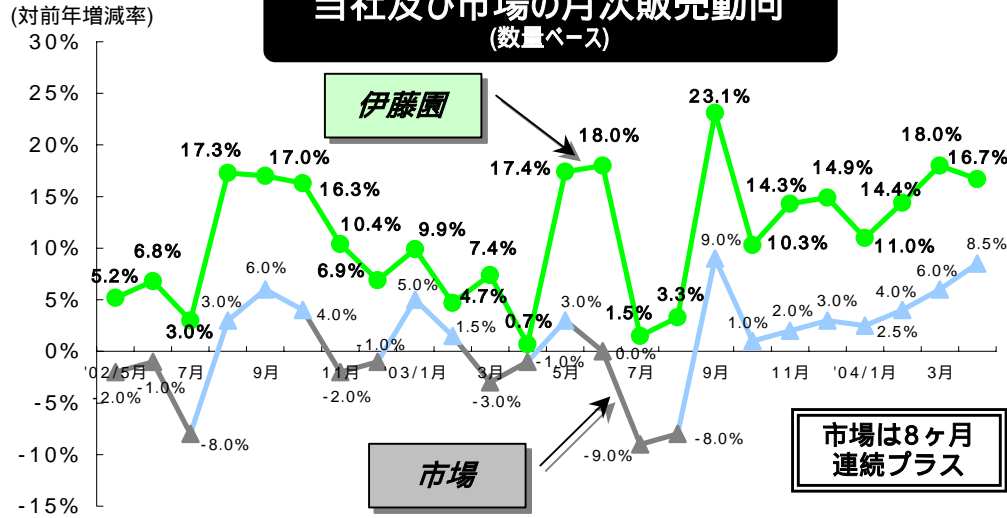
飲料市場における カテゴリー別増減 (2003年/2002年)



資料: 伊藤園
年度: 1 ~ 12月

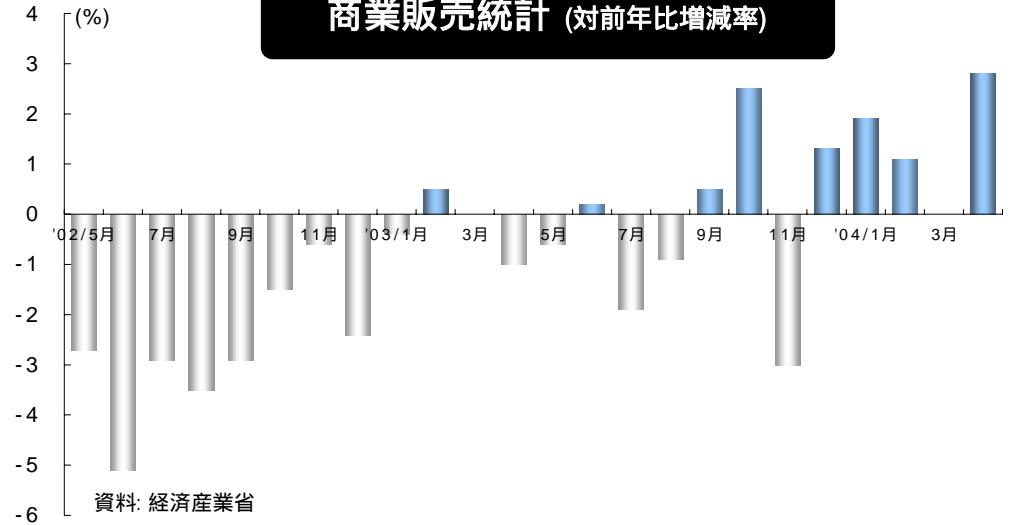
2. 市場環境

当社及び市場の月次販売動向 (数量ベース)



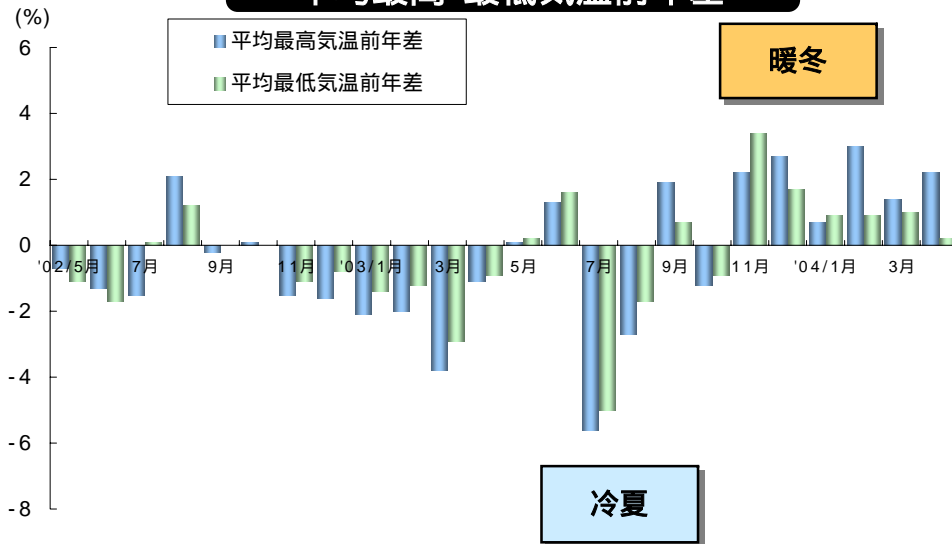
資料: 伊藤園

商業販売統計 (対前年比増減率)

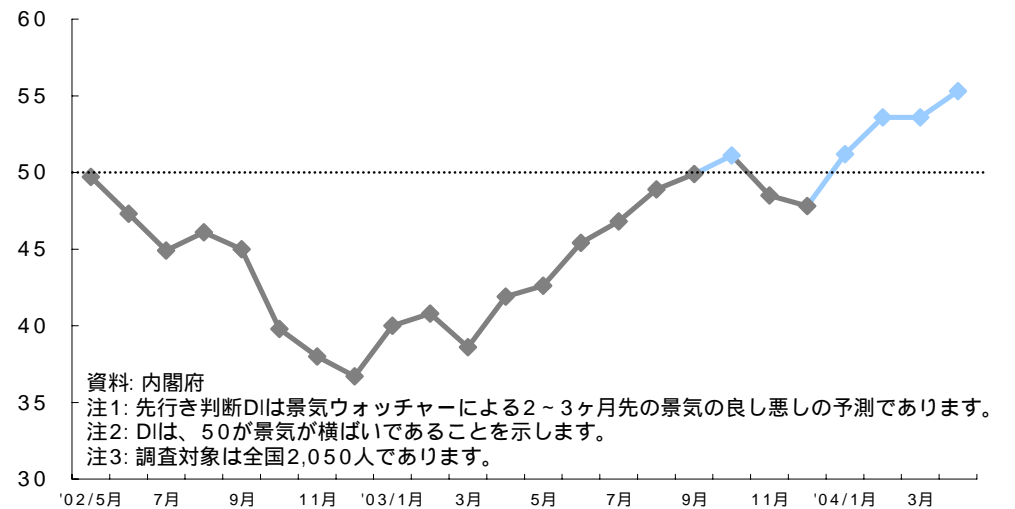


資料: 経済産業省

東京地区における 平均最高・最低気温前年差



景気の先行き判断DI



資料: 内閣府

注1: 先行き判断DIは景気ウォッチャーによる2~3ヶ月先の景気の良し悪しの予測であります。
注2: DIは、50が景気が横ばいであることを示します。
注3: 調査対象は全国2,050人であります。

3. 業績

		通期		
		2003(平成15)年 4月期 実績	2004(平成16)年 4月期 実績	
		金額(百万円)	金額(百万円)	対前期比 増減率
連 結	売上高	214,808	239,235	11.4%
	営業利益	15,694	17,505	11.5%
	経常利益	14,879	16,609	11.6%
	当期純利益	8,003	8,731	9.1%
	E P S	176.43円	193.48円	

単 独	売上高	211,495	235,629	11.4%
	粗利益	104,432	117,782	12.8%
	販売手数料	23,417	28,382	21.2%
	広告宣伝費	6,055	8,689	43.5%
	運送費	8,092	9,026	11.5%
	減価償却費	1,050	1,005	-4.3%
	営業利益	16,038	17,678	10.2%
	経常利益	15,306	16,858	10.1%
	特別損益	241	-79	-
	当期純利益	8,723	9,451	8.3%
	設備投資額	532	320	
	1株当たり配当金	43円	50円	
	E P S	192.32円	209.43円	

関連子会社の状況

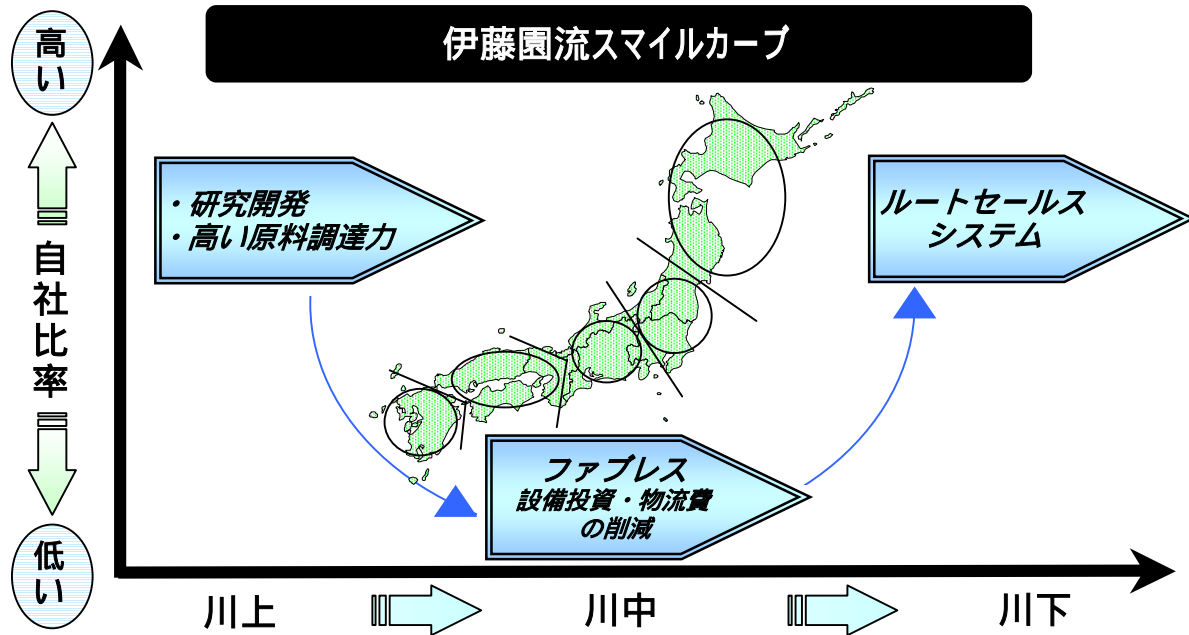
	2004年4月期 実績	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
ITO EN (North America) INC.	432	-799
国内関連子会社	16,408	750
その他	2,973	-115
連結消去	-16,208	-9

粗利益要因

	2004年4月期 実績	2005年4月期 予測
	金額(億円)	金額(億円)
売上増による効果	119	80
単価の下落	-6	0
製品構成の変化	4	0
原価低減	14	10
為替	2	0

通期	
2005(平成17)年 4月期 予測	
金額(百万円)	対前期比 増減率
256,200	7.1%
18,550	6.0%
17,650	6.3%
9,230	5.7%
205.78円	
251,600	6.8%
126,768	7.6%
30,956	9.1%
8,849	1.8%
9,690	7.4%
1,053	4.8%
18,600	5.2%
17,780	5.5%
-76	-
9,930	5.1%
811	
50円	
221.39円	

4. マネジメント



2005(H17)年4月期 経営施策

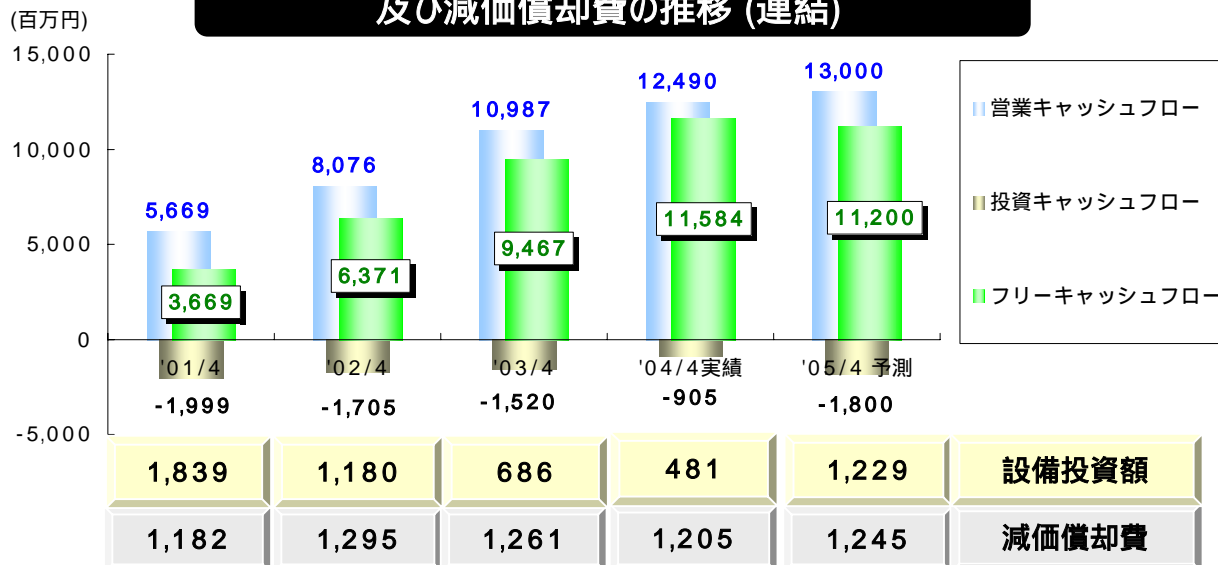
1. 営業基盤の強化
2. ブランドの強化・育成
3. 総コストの削減
4. 株主還元策の実施

- 増配(43円 50円)
- 自己株式取得枠の設定
(機動的に毎期実施のための定款変更)

5. 役員報酬の改革

- 役員退職金の全廃
- 業績連動株式報酬型
ストックオプション制度の導入

**キャッシュフロー、設備投資額
及び減価償却費の推移 (連結)**

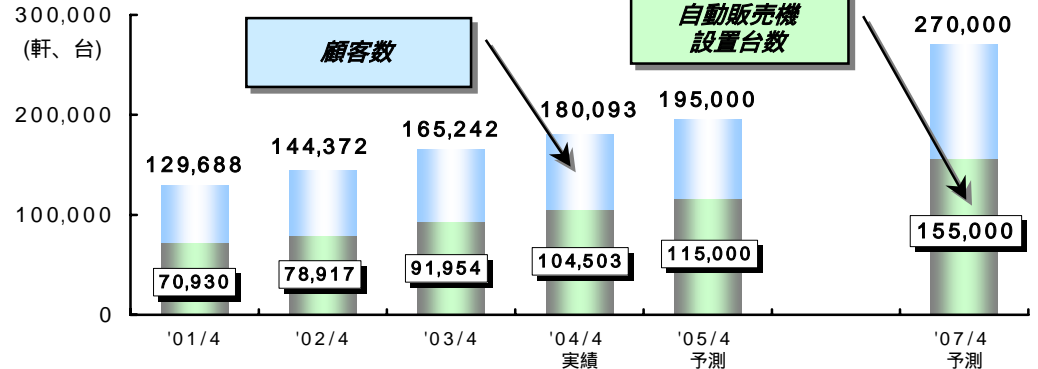


5. 営業政策

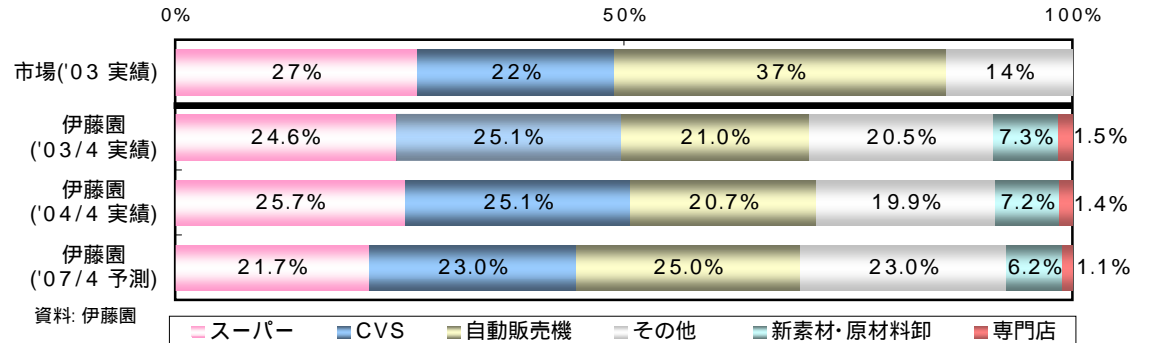
今期の取り組み

- **新規開拓の強化**
 - 新設拠点6カ所増設
 - 顧客数の増加
 - 通販事業の開始
- **既存顧客の強化**
 - エリアマーケティングの実践
 - 導入アイテムの増加
 - 交通営業部の新設
- **製品政策の強化**
 - ブランドの強化・育成
- **自販機政策の強化**
 - オペレーション効率の向上
 - 不採算自販機の移設推進
- **社員教育の強化**
 - リーダー教育
 - 月次損益の検討
 - 商品知識の向上

当社の顧客数及び自動販売機設置台数の推移



当社及び市場における 販売ルート別売上高構成比 (単独)



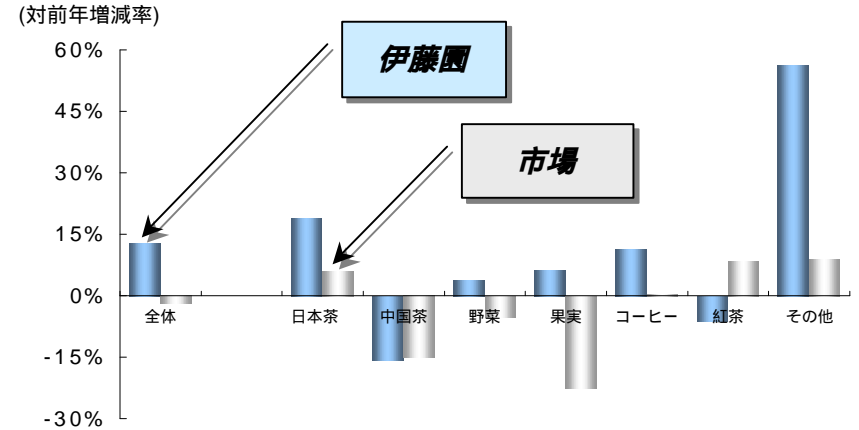
拠点数、地区別売上高構成比及び増減率 (2004年4月期実績)

	合計	東北・北海道	関東	関西	中部	中国・四国	九州
拠点数	186	27	90	25	17	13	14
売上高構成比	100.0%	11.7%	54.4%	13.2%	9.0%	5.5%	6.2%
増減率	11.6%	11.7%	9.7%	11.9%	19.2%	10.7%	18.8%

6. 部門別業績及び容器別売上高構成比(単独)

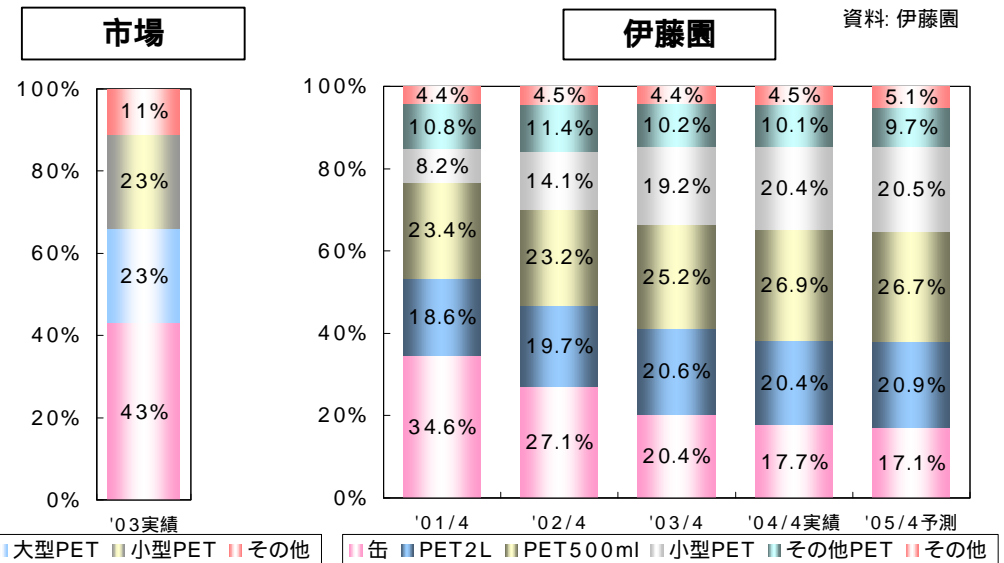
		通期					
		2003 (平成15)年 4月期 実績		2004(平成16)年 4月期 実績		2005(平成17)年 4月期 予測	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前期比 増減率	金額 (百万円)	対前期比 増減率	
売上高		211,495	235,629	11.4%	251,600	6.8%	
内訳	茶葉(リーフ)	27,851	28,072	0.8%	29,138	3.8%	
	飲料(ドリンク)	181,829	205,081	12.8%	219,582	7.1%	
	他	1,814	2,475	36.5%	2,878	16.3%	
飲料(ドリンク)	日本茶	98,761	117,483	19.0%	128,770	9.6%	
	中国茶	17,231	14,534	-15.6%	14,692	1.1%	
	野菜	22,901	23,763	3.8%	24,710	4.0%	
	果実	11,197	11,889	6.2%	11,699	-1.6%	
	コーヒー	15,169	16,895	11.4%	19,128	13.2%	
	紅茶	6,922	6,500	-6.1%	6,577	1.2%	
	機能性	4,335	7,635	76.1%	8,370	9.6%	
	その他	5,310	6,378	20.1%	5,633	-11.7%	
容器別	飲料販売数量	101,080千C/S	114,128千C/S	12.9%	122,136千C/S	7.0%	
	缶	20,562千C/S	20,248千C/S	-1.5%	20,816千C/S	2.8%	
	PET計	75,985千C/S	88,713千C/S	16.8%	95,050千C/S	7.1%	
	PET2L	20,827千C/S	23,274千C/S	11.8%	25,466千C/S	9.4%	
	PET500ml	25,443千C/S	30,739千C/S	20.8%	32,644千C/S	6.2%	
	小型PET	19,397千C/S	23,237千C/S	19.8%	25,053千C/S	7.8%	
	その他PET	10,317千C/S	11,461千C/S	11.1%	11,886千C/S	3.7%	
	その他	4,532千C/S	5,167千C/S	14.0%	6,269千C/S	21.3%	

当社及び市場におけるカテゴリー別増減率 (2003年/2002年)



資料: 伊藤園、年度: 市場1~12月、伊藤園5~4月

容器別売上高構成比 (数量ベース)



資料: 伊藤園

7. ブランド政策(1) - お~いお茶

「自然へのこだわり」と
それを実現する「革新への試み」

緑茶飲料の香料使用別販売シェア (上位10ブランドにおけるシェア、数量ベース)

	2003(H15)年 実績	2004(H16)年 見込み
香料未使用	50.2%	69.8%
香料使用	49.8%	30.2%

資料: 伊藤園

お~いお茶の販売実績及び予測(単独)

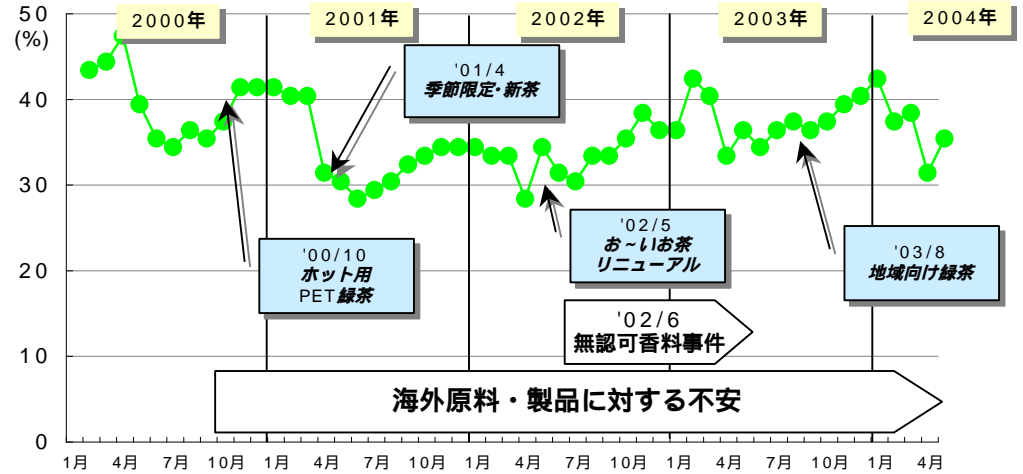
	2004(H16)/4期実績		2005(H17)/4期予測	
金額(億円)	1,025	17.4%増	1,091	6.5%増
数量(千ケース)	58,868	17.7%増	62,875	6.8%増

今期の政策



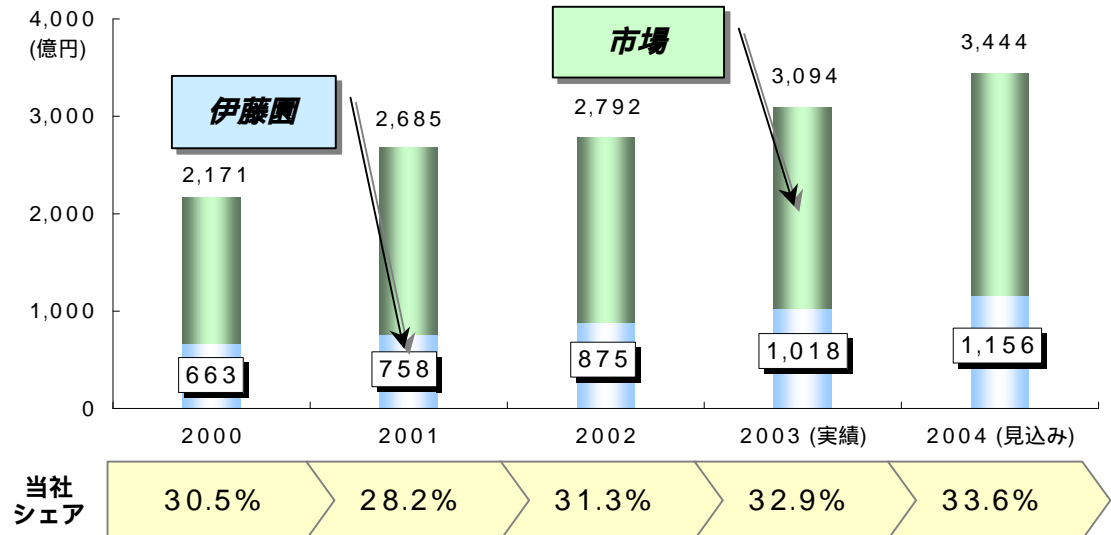
- 「お~いお茶 濃い味」ブランドの発売
(5月24日~)
- キャンペーンの強化
 - カテキンフェア
 - 夏の健康飲料フェア
- エリアマーケティングの強化

お~いお茶の月次シェア推移 (上位7ブランドにおけるシェア、数量ベース)



資料: 伊藤園、注: 2003年以降は8ブランドにおけるシェア

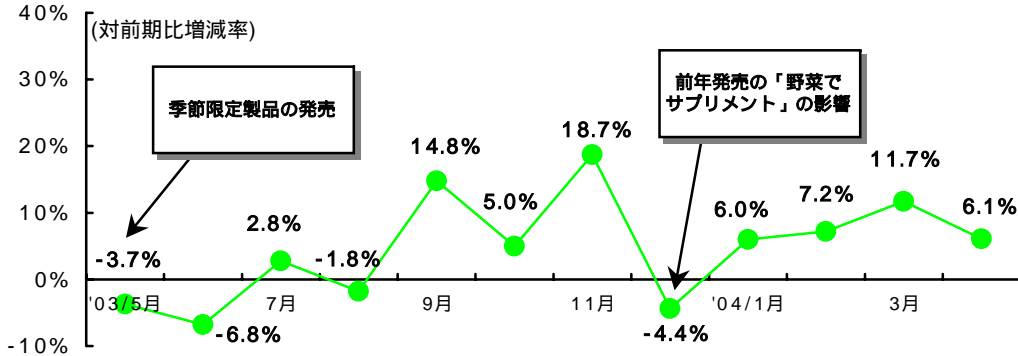
緑茶飲料市場の推移



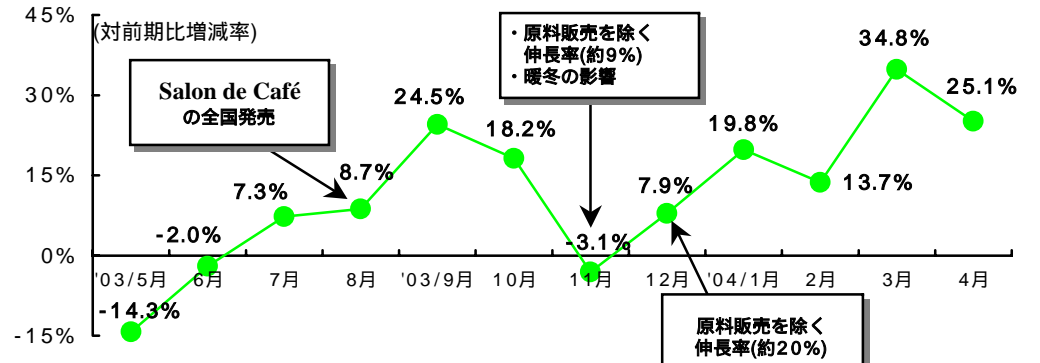
資料: 伊藤園、年度: 1~12月

8. ブランド政策(2) - 野菜飲料及びコーヒー飲料

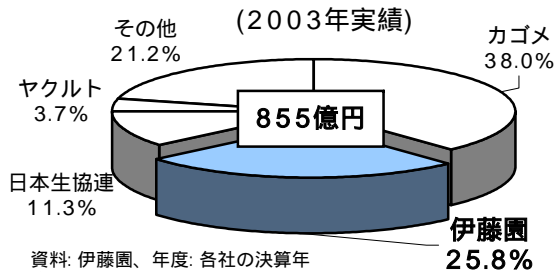
当社の野菜飲料月次販売動向 (金額ベース)



当社のコーヒー飲料月次販売動向 (金額ベース)



野菜飲料市場(トマト系を除く)シェア



シェアアップ

2002年
当社シェア
23.0%

→

2003年
当社シェア
25.8%

コーヒー飲料の性別飲用者構成比

	Salon de Café	ブランドA	ブランドB
男性	53%	64%	59%
女性	47%	36%	41%

資料: 伊藤園、注: 首都圏におけるコーヒーユーザー調査の結果であります。

儲かる仕組みづくり

- 新製品の拡充
 - 「1日分の野菜」5/17新発売
 - 季節製品の定番化
- 手売り市場の強化
 - 店頭強化
 - 販促強化
 - お料理レシピコンテスト



じっくりブランドを育てる

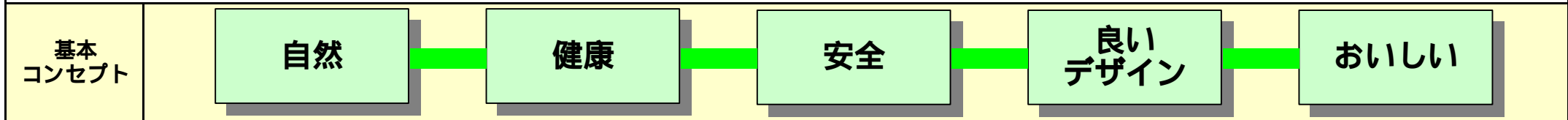
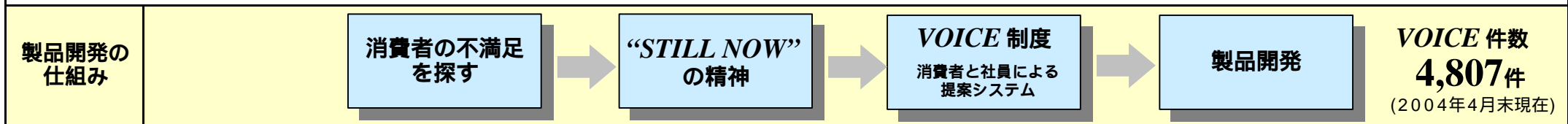
- 認知度を高める
 - TVCMの投入
 - 広告宣伝の強化
- 手売り市場の強化
 - 店頭ツール
 - 販促強化



9. ブランド政策(3) - 新しいカテゴリーへの挑戦



研究開発体制	■ 研究開発費及び研究開発人員(単独)			■ 特許件数(出願中含む) 2004(H16)年4月末現在		
		2003(H15) /4期	2004(H16) /4期実績			
	研究開発費 (百万円)	1,348	1,553	2,039	緑茶に関する研究開発 (原料茶、緑茶飲料) 44件	その他の飲料に関する研究開発 (麦茶、烏龍茶、果実・野菜ジュース) 41件
研究開発人員 (人)	138	144		薬理効果・効能に関する研究開発 (予防、老人性痴呆症防止) 93件	その他	42件
				茶の他の利用に関する研究開発 (洗口液、抗菌材料等) 18件	合計	238件



10. 循環型社会に向けて

原料生産工程

製品製造工程

販売・消費工程

鹿児島



宮崎



中国



オーストラリア

自社リーフ工場

- ISO9001取得
品質マネジメントに関する国際規格
- ISO14001取得
環境マネジメントに関する国際規格

委託工場

- 全国約40の協力工場
- 飲料製造時には、当社の品質管理担当者を立ちあわせ、製造管理を徹底する。

消費者・小売店

空き容器の自主回収は
ルートセールスの強み



- 品質の向上と低コスト化
- 農業の安定経営と原料の安定供給
- 環境と共存する茶園経営の推進

伊藤園がかかわる茶園の二酸化炭素の固定(吸収)量は年間で約90,000トンCO₂(排出量は約29,000トンCO₂)



茶殻の有効利用



茶配合ボード



茶配合樹脂で
製作したベンチ

適正な業者に委託し、
リサイクルに貢献



ペットボトル再生材を使用したユニフォーム

11. 海外展開

米国

■ ホールセールス部門

直 販

- ニューヨーク: 販売体制が整う

ディストリビューター

- ナチュラル市場及び日系市場が充実
 - … 自然食品問屋 No.1の UNFI に続き、No.2の Tree of Life と新たに契約

■ ショップ部門

- 売上高 対前期比増減率57.5%増
- ウェブサイトでの販売も拡大

■ レストラン「KAI」

- 売上高 対前期比増減率20%増
- 高い評価と認知度高まる

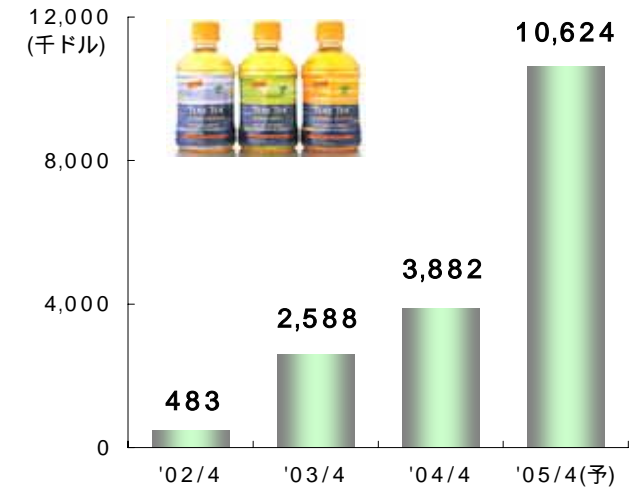


店内に設置のホット&コールド

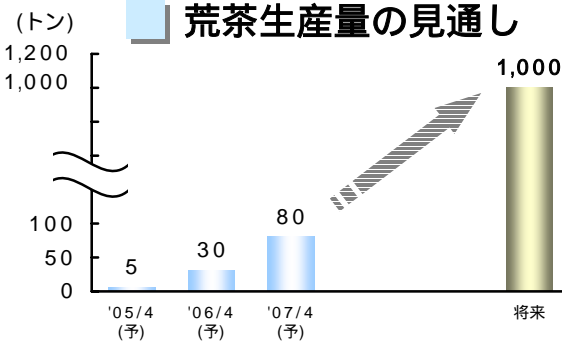


ニューヨークにおける営業活動

■ ITO EN (North America) INC. の売上高推移



豪州



- 今年10月、荒茶工場を完成予定(設備投資3億円)
- 11月より本格稼働
- 今期は5トンを生産予定

中国

■ 当社の取り組み

- S54 中国土畜産進出口総公司与烏龍茶の輸入代理店契約締結
- H 6 寧波舜伊茶業有限公司を設立 (出資比率: 60%)
- H10 福建新烏龍飲料有限公司を設立 (出資比率: 19.5%)
- H16 福建新烏龍飲料有限公司の設備増強

■ 今後の展開

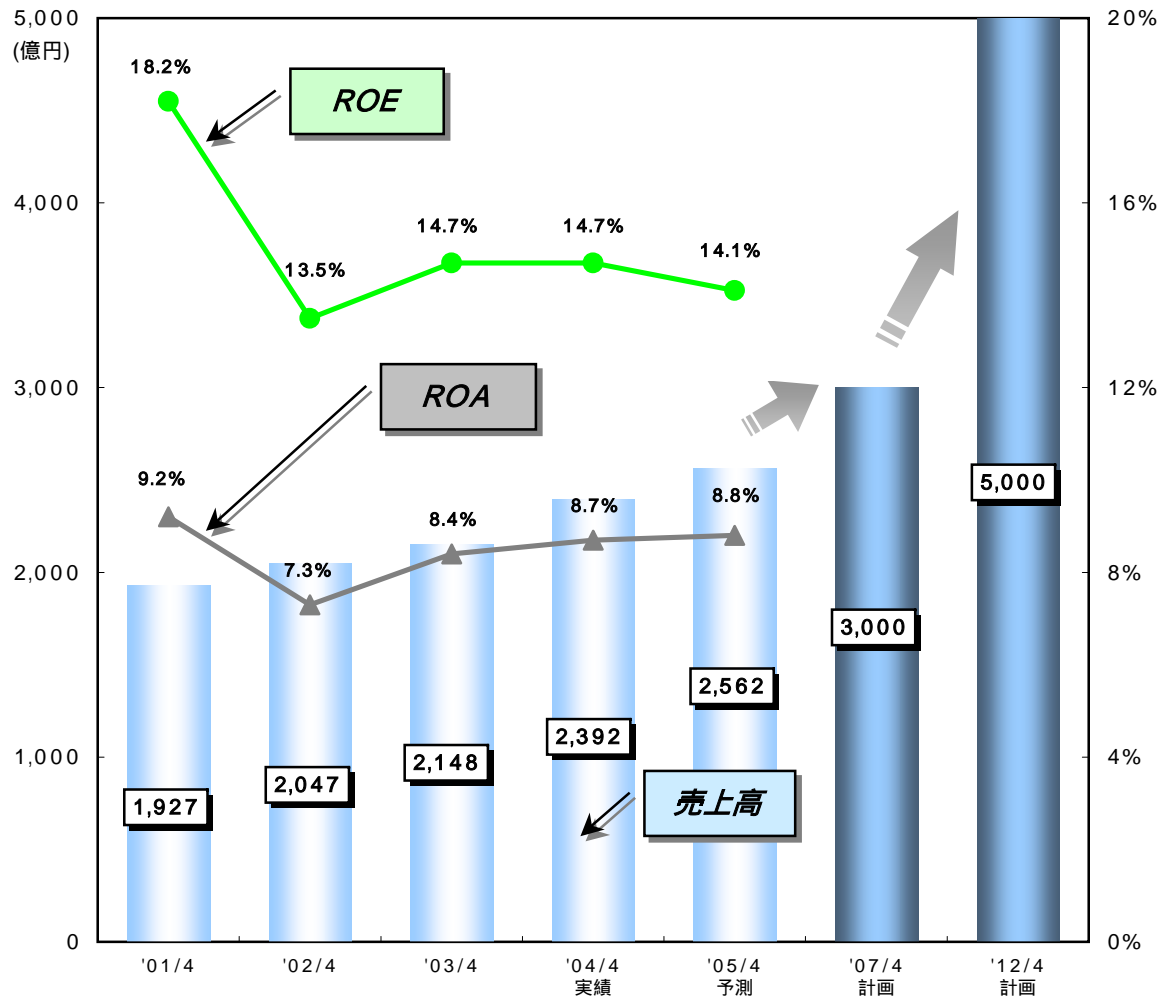
- 利益拡大ができるシステムづくり
- 地域選定ならびに生産・販売体制の構築



12. 中長期計画

- 継続的な企業価値の創造 -

ROE、ROA及び売上高の推移(連結)



2007(平成19)年4月期

連結売上高 3,000億円以上

ROE 17%

ROA 9%

EPS 250円以上

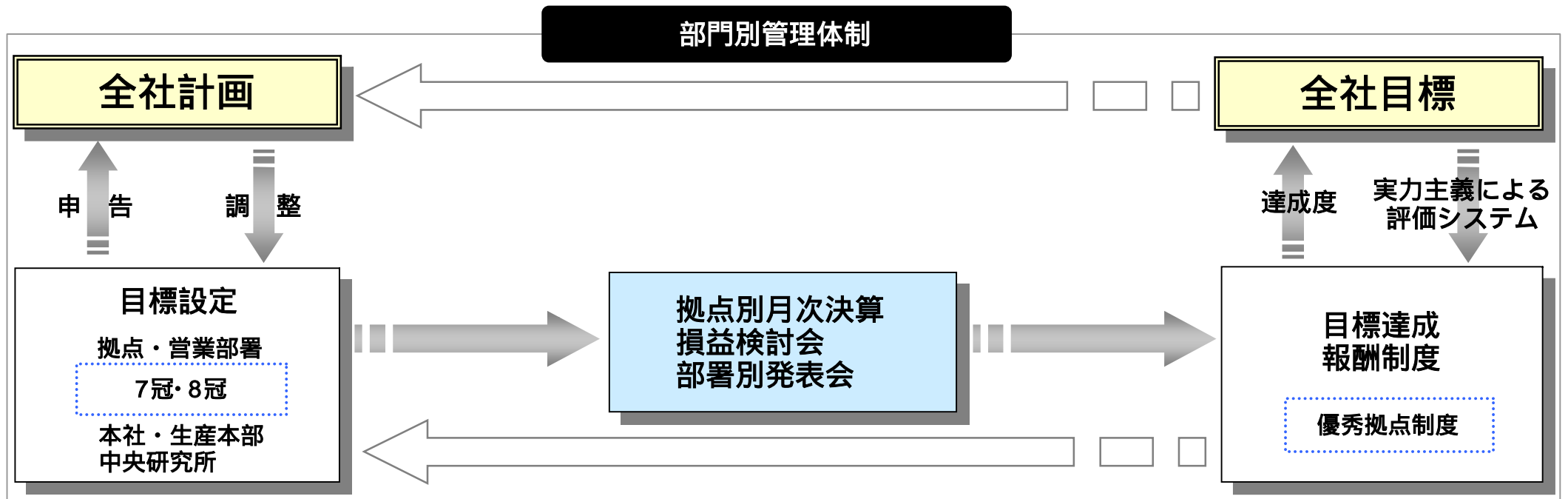
2012(平成24)年4月期

連結売上高 5,000億円以上

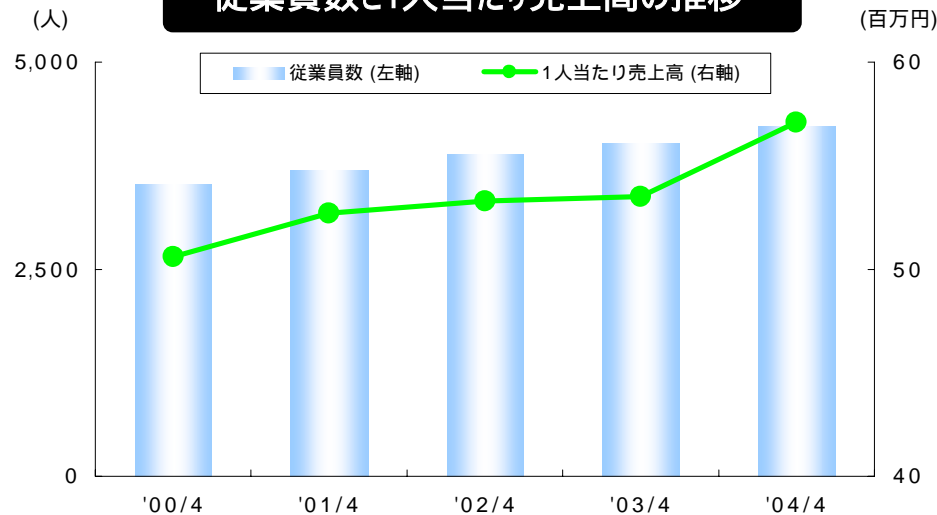
参考資料

1. システム
2. 市場(1)
3. 市場(2)
4. 市場拡大の背景
5. 主要経営指標(連結)
6. 当社の概要及び株価推移

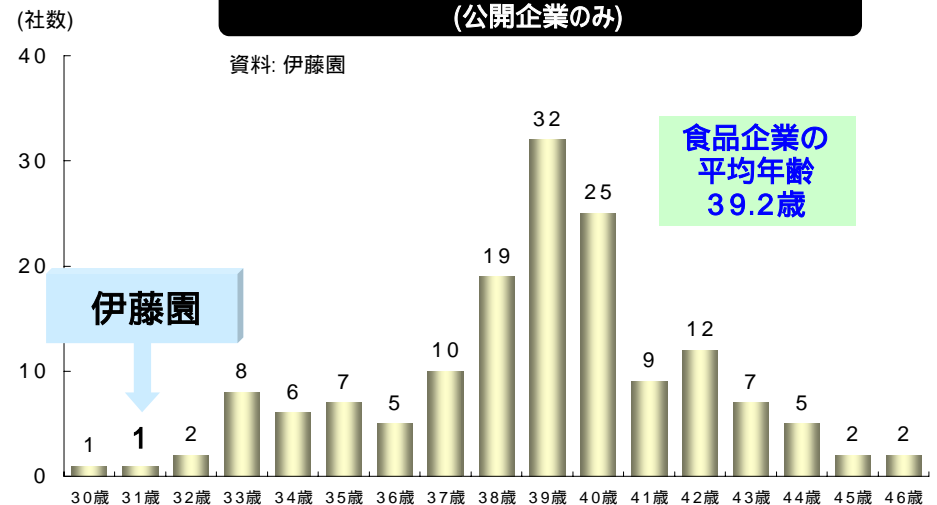
参考資料 - 1. システム



従業員数と1人当たり売上高の推移



2003年 食品企業の従業員平均年齢 (公開企業のみ)



参考資料 - 2. 市場(1)

各市場の飲料化比率

資料: 伊藤園

	2000 (平成12)年	2001 (平成13)年	2002 (平成14)年	2003 (平成15)年 実績 (一部見込み)	2004 (平成16)年 見込み
緑茶	9.6%	12.5%	13.2%	14.8%	16.2%
ウーロン茶	49.5%	55.2%	56.8%	56.3%	
紅茶	34.6%	34.1%	31.4%	33.0%	
コーヒー	30.4%	30.3%	29.4%	29.5%	

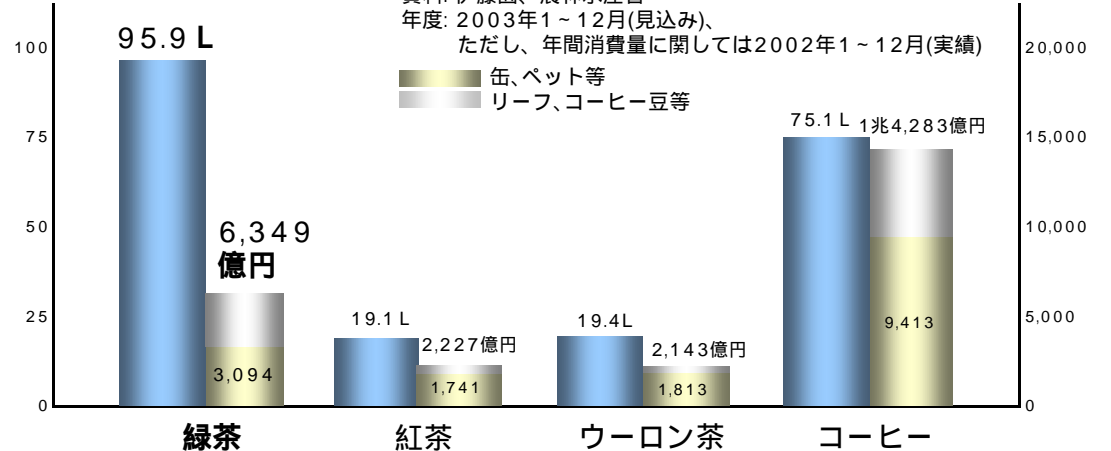
代表的飲料の1人当たり年間消費量と市場規模

1人当たり年間消費量(リットル)

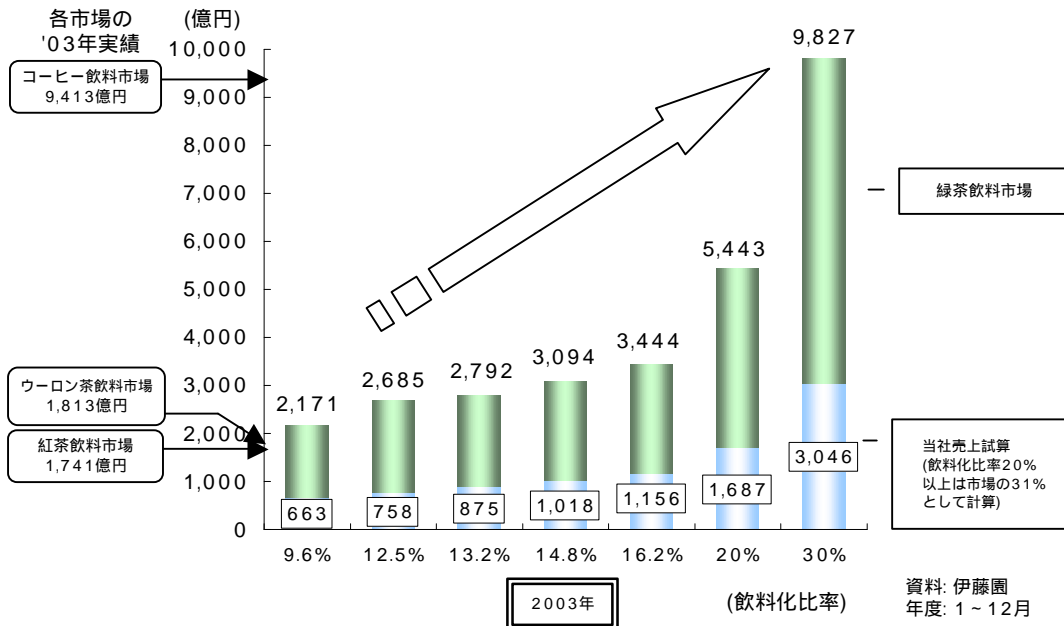
資料: 伊藤園、農林水産省

年度: 2003年1~12月(見込み)、
ただし、年間消費量に関しては2002年1~12月(実績)

市場規模(億円)

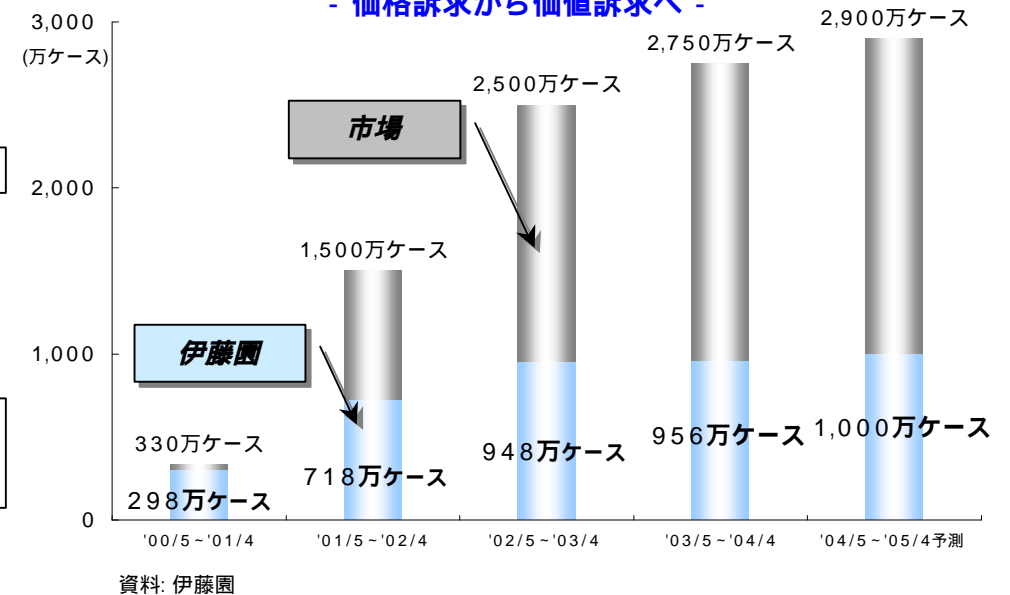


緑茶飲料化比率と緑茶飲料市場



ホットペット市場

- 価格訴求から価値訴求へ -



参考資料 - 3. 市場(2)

他社の状況 (主要各社の緑茶飲料発売時期)

資料: 伊藤園

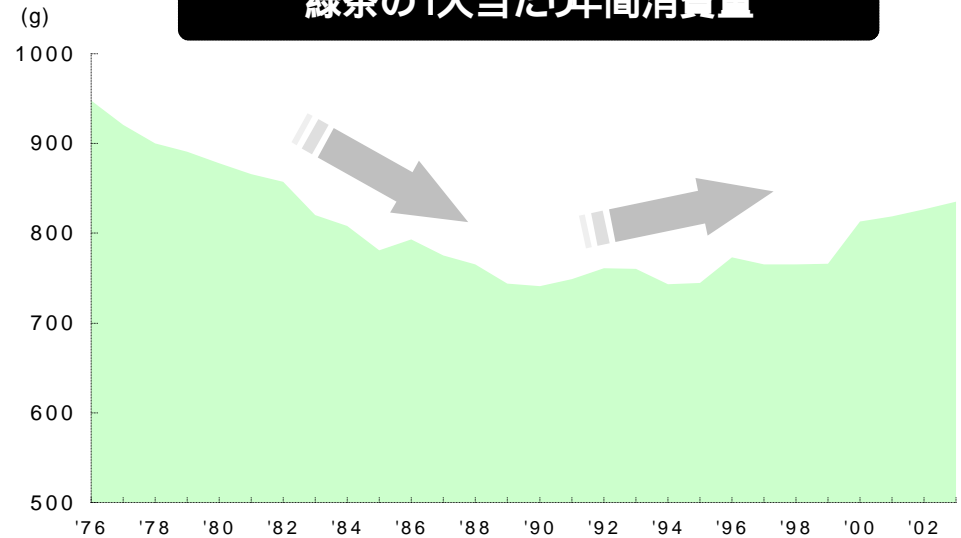
	伊藤園	コカコーラ	キリン ピバレッジ	サントリー	アサヒ	JT	花王
'85(S60)年	缶入り緑茶 "お~いお茶"						
'88(S63)年		ジョージア・お茶		煎茶			
'89(H元)年					せん茶		
'90(H2)年	PET緑茶			日本茶			
'91(H3)年			嘉福煎茶		初摘み茶		
'92(H4)年		神葉煎茶	一番茶使用煎茶		お茶どうぞ 緑茶・初摘み茶	伝統釜炒り茶	
'93(H5)年		茶流彩彩 煎茶		緑茶(茶)	お茶どうぞ 銘茶三撰		
'94(H6)年		清流茶房 煎茶	緑茶一煎	京番茶	銘茶三撰緑茶	緑茶	
'96(H8)年	PET緑茶製造法 特許取得	清流茶房 日本のお茶			お茶どうぞ あじわい緑茶		
'97(H9)年					あじわい緑茶		
'98(H10)年		なごみ 緑茶	ナチュラルズ				
'00(H12)年	ホット用PET 緑茶	なごみ笹緑茶	生茶	しみじみ緑茶	新茶風味緑茶	GREEN'S	
'01(H13)年	季節限定製品	まる茶			旨茶		
'02(H14)年				緑水		うぶ茶	
'03(H15)年	地域向け製品	まる茶120	口どけ生茶 日本伝承釜の茶	和茶	おいしい旨茶	渋茶	ヘルシア緑茶
'04(H16)年		まる茶 茶葉の功	ねかせ生茶 もろこし生茶	伊右衛門	にござせ旨茶		

緑茶原料の現況

	2002 (平成14)年	2003 (平成15)年		2004(平成16)年 見込み	
	トン	トン	対前年増減率	トン	対前年増減率
荒茶生産量	83,700	91,900	9.8%	90,000	-2.1%
輸入量	11,790	10,242	-13.1%	13,000	26.9%
輸出量	760	760	0.0%	750	-1.3%
国内消費量	101,800	106,500	4.6%	109,000	2.3%
当社取扱量	16,107	17,647	9.6%		
飲料化比率	13.2%	14.8%		16.2%	

資料: 農林水産省、日本茶業中央会、伊藤園、年度: 当社取扱量 5~4月、その他 1~12月

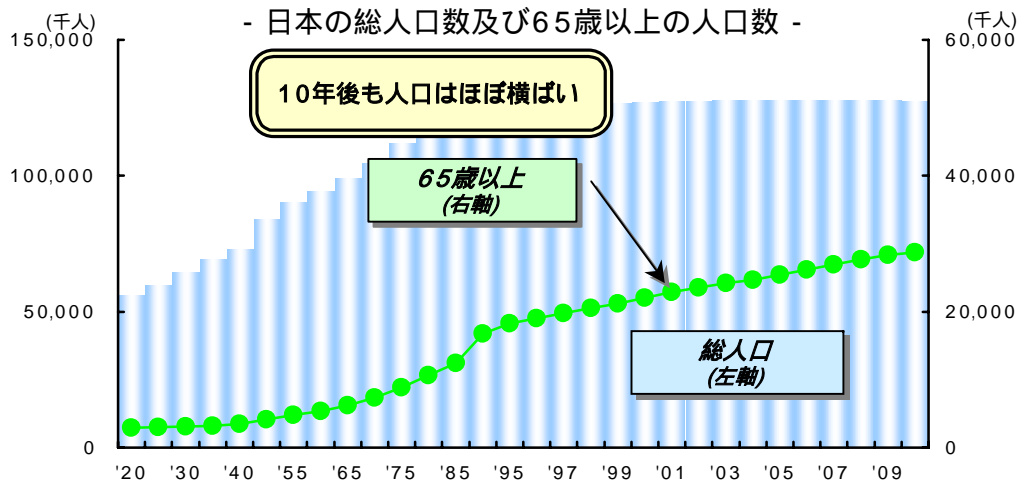
緑茶の1人当たり年間消費量



資料: 農林水産省、財務省他

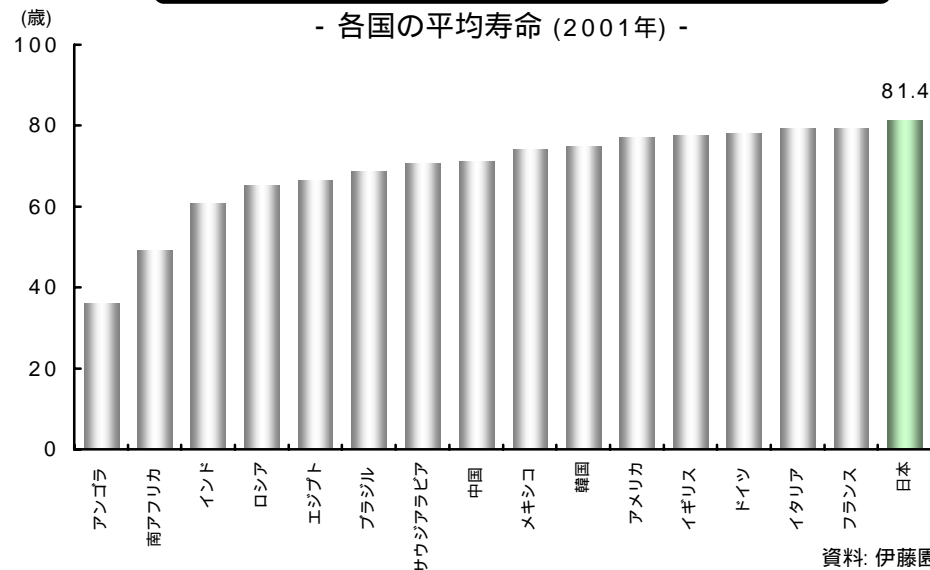
参考資料 - 4. 市場拡大の背景

健康志向の流れ

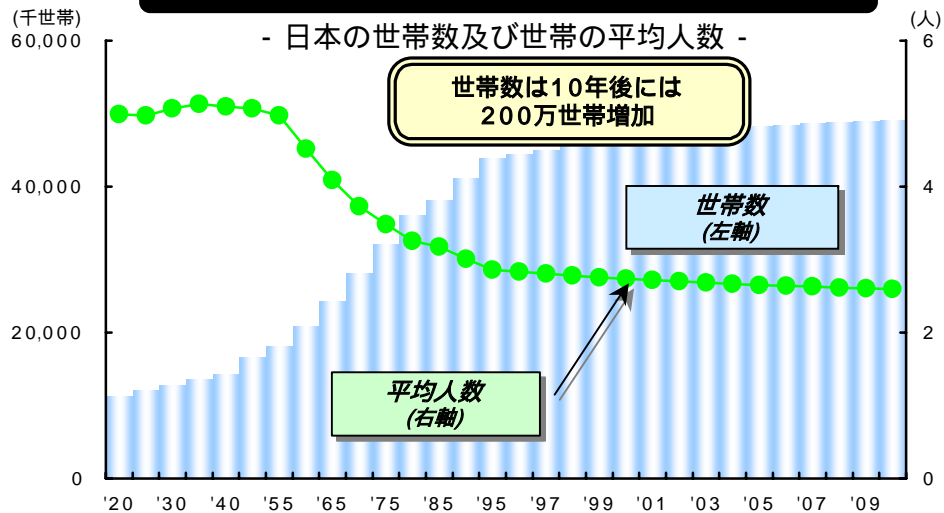


資料: 日本の将来推計人口

日本の食文化は健康的

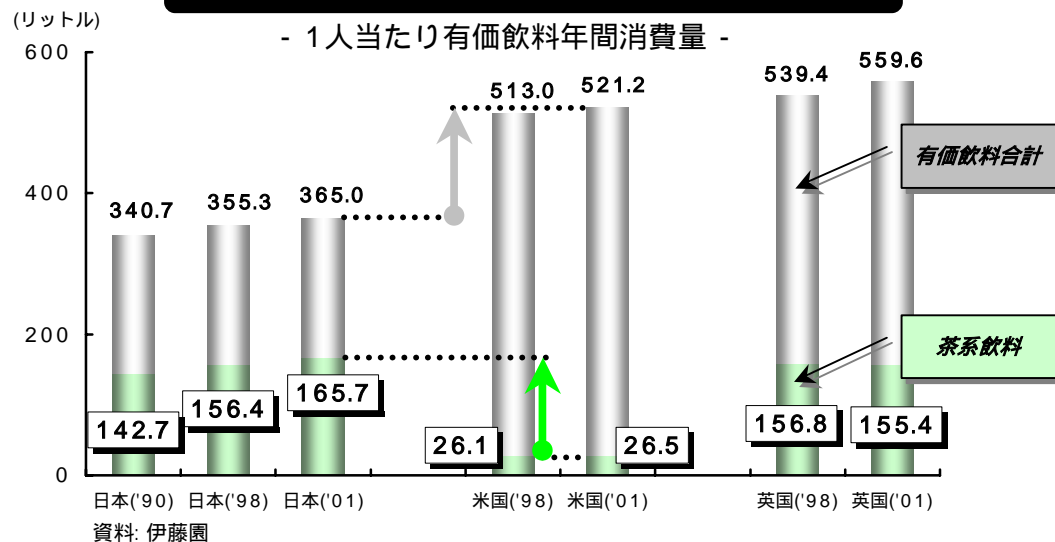


簡便化志向の流れ

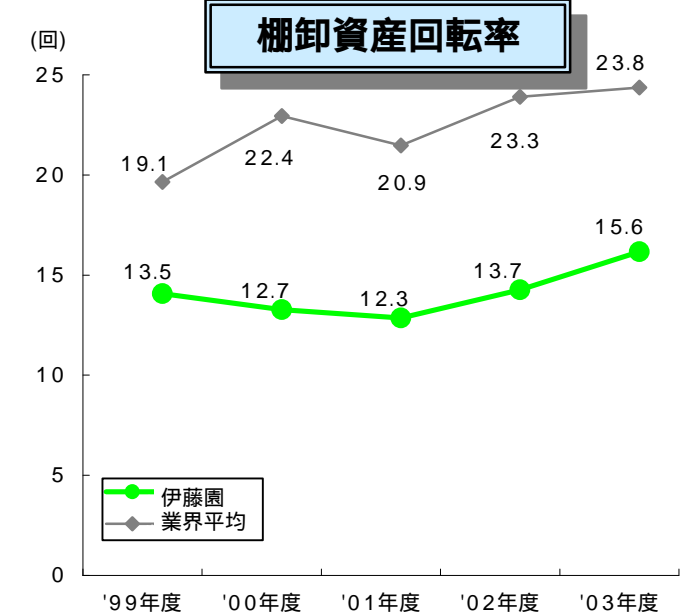
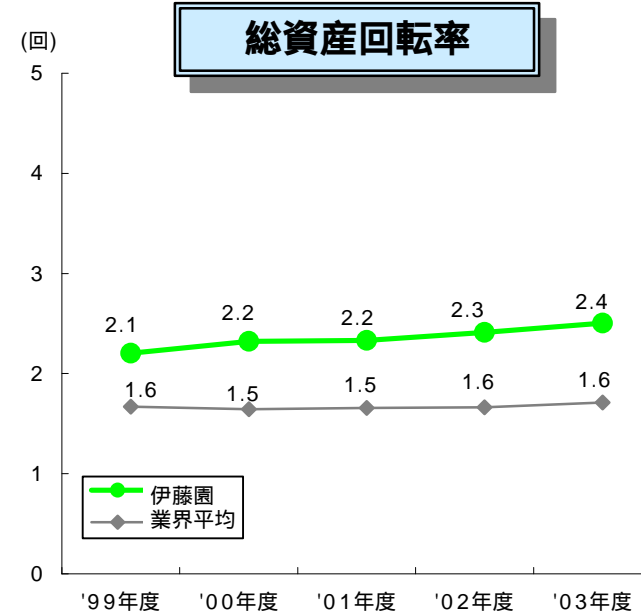
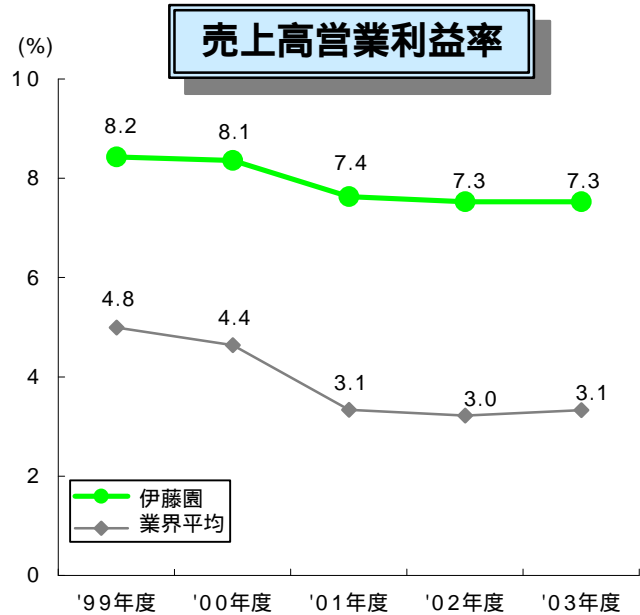
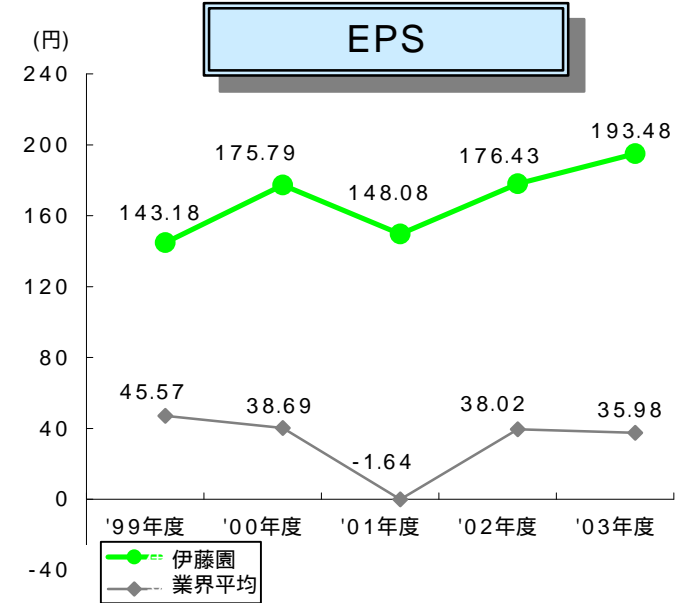
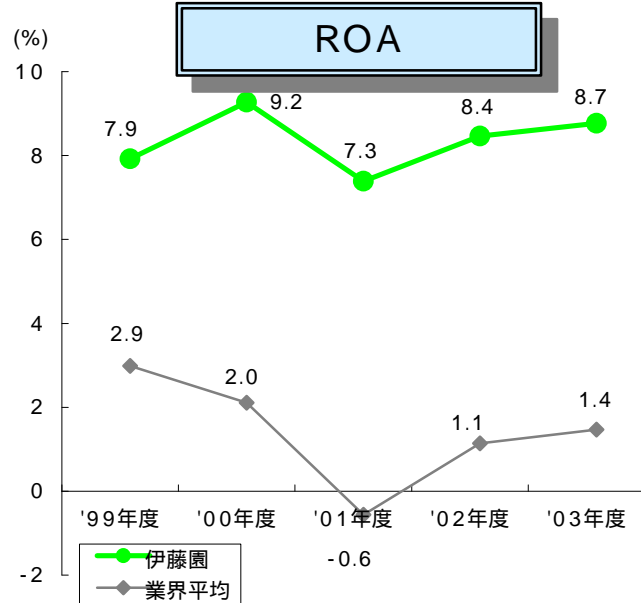
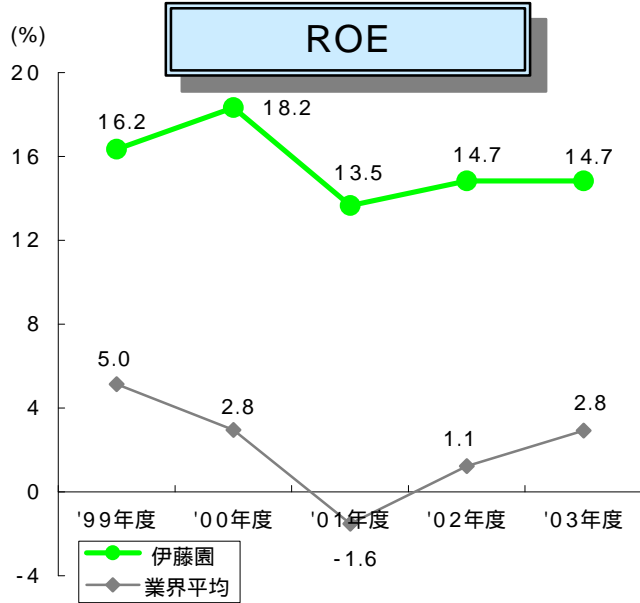


資料: 日本の世帯数の将来推計、伊藤園

増加する有価飲料



参考資料 - 5. 主要経営指標(連結)

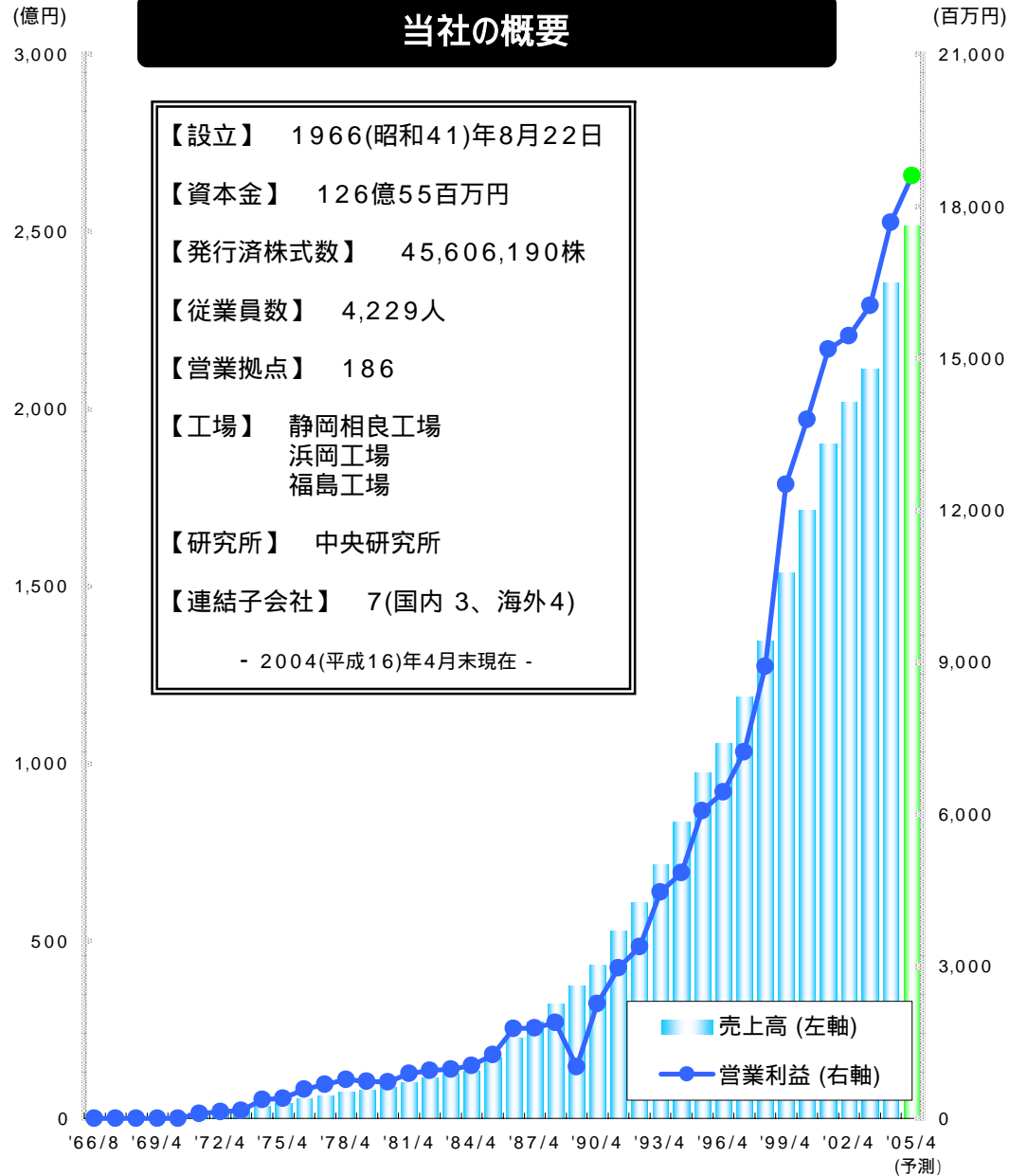


資料: 伊藤園、注: 業界平均は主要メーカー11社の単純平均であります。

参考資料 - 6. 当社の概要及び株価推移

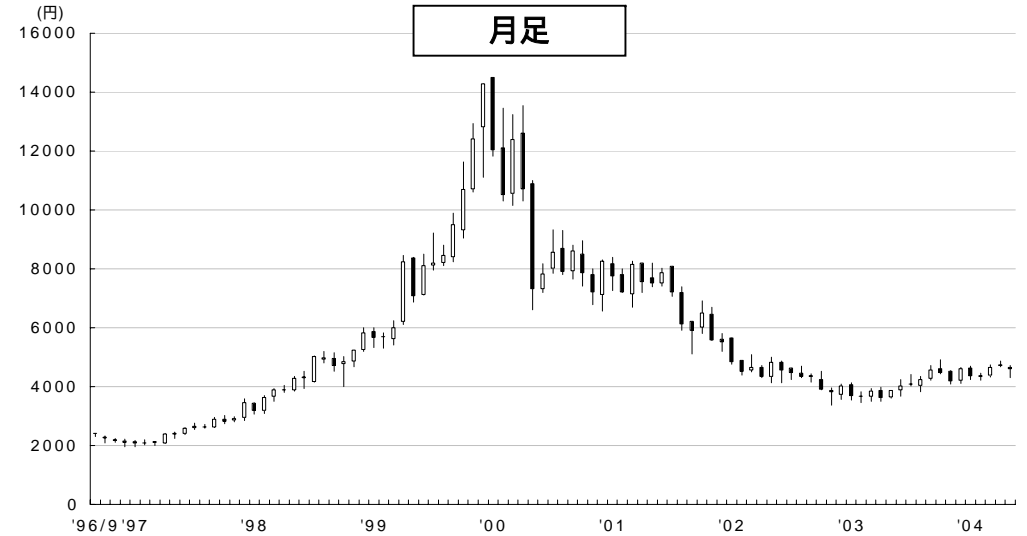
当社の概要

【設立】 1966(昭和41)年8月22日
【資本金】 126億55百万円
【発行済株式数】 45,606,190株
【従業員数】 4,229人
【営業拠点】 186
【工場】 静岡相良工場
 浜岡工場
 福島工場
【研究所】 中央研究所
【連結子会社】 7(国内3、海外4)
 - 2004(平成16)年4月末現在 -



株価推移

月足



日足



当資料取扱い上の注意点

当資料は伊藤園の現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた伊藤園の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的な依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、以下のようなものが含まれます。すなわち、天候、特に夏場の低温 異物混入等の製品事故 伊藤園の事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向 変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスを伊藤園が企画・開発し続けていく能力、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また当資料は、あくまで伊藤園をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。